

## 令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	小郡市役所		代表者名	加地良光	
担当者部署	経営政策部		連絡先電話番号	0942-72-2111	
担当者役職	企画主査	担当者氏名	和田あゆみ	連絡先E-mail	
住所	838-0198 福岡県小郡市255-1				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	伊藤 文徳	
評価	大変よい	
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	本市が今後検討している事業を、実際に所属市町村において主導的立場で導入された経験に基づく助言をいただいた。	
アドバイザーへの要望事項	今後、同様のテーマで、庁内の関係職員等を対象としたセミナー的なものをお願いするかもしれないので、ぜひお引き受けいただきたい。	

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年6月12日	支援・助言	有	令和5年6月12日	701
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年6月15日	支援・助言	10時30分	12時00分	0
				活動時間（分）	90

### 4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/</a>
------	---------------------------	---

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	1人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	令和6年度の統合型・公開型GISの導入をめざしている。 庁内で活用されている地図情報の管理方法（紙・エクセル・個別の地図情報システム）とGISへの参加希望調査を実施した。今後具体的に事業を推進していくにあたり、①導入に向けた推進体制づくり ②システムの仕様検討 ③既存の個別GISとの関係整理 ④導入に伴う一部地図情報の電子化 ⑤以上4点のすすめ方・方針設定が課題となっている。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	①導入に向けた推進体制づくり ②システムの仕様検討 ③既存の個別GISとの関係整理 ④導入に伴う一部地図情報の電子化 以上に対するすすめ方・方針設定の大枠の考え方を整理する。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	以下についての説明・助言を受けた ・所属市での導入経過・システム構成 ・統合型GISの活用事例紹介 ・導入に向けての課題切り分けに対する助言	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	今後の事業のすすめ方について、考え方の大枠が整理できた。 特に本事業の推進にあたっては「統合型GISの本来機能（情報共有・データ分析）を利用して何をしたいのか」というモチベーション部分が重要であり、本市はこの点の意識形成がまだ不十分である点を認識できた。 当面のアピールとしては公開型導入による窓口業務改善と情報のデジタル化を中心とし、あわせて統合型GISの活用事例紹介などを通じた統合型GISの活用の機運を高めていきたい。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	・今回の派遣によって担当レベルで得た知見を市内全体で共有していく必要がある	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 担当職員1名に対する助言を受けており、アンケートを実施する必要がない	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	公開型・統合型GISの導入	

なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

20230620 会津若松市における住基空間情報を活用した行政課題解決への挑戦【本番用】.pdf - Adobe Acrobat Reader DC

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 署名(S) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

ホーム ツール 20230620 会津若松... x

68 / 188 82.2%

### データを把握し分析する～GISのフル活用 会津若松市

現況や課題を“見える化”し共有することで、運行すべき交通のイメージがしやすくなった(ここには〇〇さんしかいないのだから、バスよりもタクシーの方が良いのでは?)

※市担当職員も、コンサル頼りではない、仮説を持った検討が可能となった

**【凡例】**

- 人が住んでいるところ
- バス路線
- バス停から300m区域

バス沿線だが利用者が少ない地域

- 人 □:〇〇人
- 単身女性高齢者:〇〇人
- 高校生層:〇〇人
- 集落散在し、人口もまばら

交通空白・生活不便地域

- 人 □:〇〇人
- 単身女性高齢者:〇〇人
- 高校生層:〇〇人
- 集落散在し、人口もまばら

人口集中・利便施設集中地域

- 人 □:〇〇人
- 単身女性高齢者:〇〇人
- 高校生層:〇〇人
- 住宅地が密集し、人口も多い

住基と連動したGISシステムを活用

16